留学生センターアドバイジング・カウンセリング部門（IB 館）報告
～留学生のための支援活動～

松 浦 ま ち 子

【はじめに】

2011年度は，名古屋大学留学生相談室と留学生センター教育交流部門が統合し，名古屋大学留学生センター「アドバイジング･カウンセリング部門」として出発した。育児休暇中の高木ひとみ特任准教授の代替教員として田所真生子特任准教授を５月に迎え，スモールワールドコーヒーアワーやグローバル人材育成プログラムを継承していただいた。また，増加傾向にある留学生のキャリア教育・就職支援業務に対して，８月G30雇用でキャリア･ディベロプメント･オフィスに今井千晴さんがコーディーネーターとして着任した。留学生センター（旧:名古屋大学留学生相談室）が行ってきた留学生の就職支援活動との連携を図るため，執務場所を留学生センターアドバイジング・カウンセリング部門事務室（IB 館）内に設置した。それにより留学生の就職支援を拡大強化することができた。

振り返れば，2004年１月に名古屋大学留学生相談室が設置され，「室長」を兼任した約８年間に所属や雇用形態は異なるものの，実質的に共に働くアドバイザー，カウンセラー，事務補佐員等構成員が増えたことから，名古屋大学の留学生相談・支援業務の充実が図られた８年間であった。しかしながら，その間の留学生数の変化を見てみると，2003年11月は1,247名，2011年11月は1,749名と約500名増加しており，留学生支援に関わる教職員が増えたといっても必ずしも十分ではないことも明白である。

また，日本人学生の「内向き志向」という言葉がマスコミに登場した年でもあった。留学生に携わる私たちは，ずっと以前から日本人学生への危機感を持っており，日本人学生に留学生との交流から学んでほしいと願って，様々なグローバル人材育成プログラムを提供してきた。それらに興味を持って参加する日本人学生は決して「内向き志向」ではなく積極的な学生が多かったことを考えると，積極的な学生と消極的な学生の二極化が進んでいるのかもしれない。すべての学生が自信を持って社会に飛び出せるよう多面的にさらなる支援をしたい。

【相談業務の全体的傾向】

東日本大震災後，約３週間で新しい年度を迎えた。入学式を延期する大学もある中，名古屋大学では入学予定の学生の渡日中止や延期があったものの，急遽帰国した学生はほとんど戻ってきたと聞いた。６月に国立大学法人留学生指導研究協議会が東京大学で開催され，そのシンポジウムテーマは「緊急時の留学生の安否確認・所在確認体制について」であった。名古屋大学でも安否確認システムが確立しているが，大学教職員も被災が想定される緊急時にどの程度機能するか少し不安に思う。日々のネットワークがより大切であろう。

10月の G30学生受け入れに向けて関係者からはピリピリした感覚が伝わってきた。宿舎の入居オリエンテーション，学部生ガイダンス，授業への取り組み，宿舎での生活態度，経済的問題等，学生の緊張と受け入れ側の緊張が増幅されているようであった。次期入学者に対しては，現在の学生が先輩学生としてアドバイスするなどよきピア・サポーターとなることを願っている。

留学生の就職に関しては，後述のとおり，企業側の留学生採用への関心が高く，問い合わせや相談が多く，電話，メール，来訪と一日数社に対応することも少なくない状況であった。企業の方々には，留学生事情について話し，留学生と企業との距離を縮めるよう努力した。

【日本語・勉学】

・尊敬する指導教員との溝に悩む留学生から，卒業や

学位が絡む深刻な相談があった。結果として，学位を取得して卒業したが，指導教員との絆は断ち切られたままで，回復できないことを寂しく思う留学生の心の痛みを感じた。

・留学生のチューター制度のもとになっている「名古屋大学チューターマニュアル」(2007年)の内容を見直す必要が出てきたため，留学生教育交流実施委員会でワーキングを設置し，次年度に向け改訂を行った。主な変更は，チューター時間数の短縮とチューター支援を受ける対象学生の範囲の緩和である。教育発達科学研究科留学生相談室担当の渡部留美先生が作成された「チューターハンドブック」(2010年)と合体させ，前半を「制度･手続き編」，後半を「実践編」として構成し，チューター活動をわかりやすく紹介した。2000部作成し各部局へ配布した。

【宿舎】

1．国際交流会館

(1)　2011年９月15日にインターナショナルレジデンス妙見の竣工記念式典が行われた。単身室93室で，G30学生（G30日本人学生を含む）を中心に入居させる宿舎である。入口に配色されたオレンジ色に温かみがある。チューターとして日本人大学院生４名を配置した。

(2)　2012年３月30日には，インターナショナルレジデンス山手サウスの内覧会があり，寮室８室１ユニットの共同生活型の宿舎は，これまでと違った趣があり，ここに住む留学生は寂しさを感じなくて済むだろうと思った。室数は112室であり，レジデンス妙見，及び国際嚶鳴館の留学生枠60室を加えると名古屋大学の留学生用居室数は合計542室となった。

(3)　留学生用宿舎には，日本人大学院生がチューターとして入居しており，留学生相談主事と国際学生交流課の担当掛長が申請書類に基づき面接・選考している。留学生宿舎の増加に伴い，チューターは20名となった。そのため，これまではチューターの良識に委ねていた生活規範を含む職務や異文化適応に関して，共通認識を持つためチューター研修を開催した。今後も継続的に研修が必要と考えている。

2．社員寮

・社員寮の入居希望者の面接を国際学生交流課の担当職員とともに行った。(山田商会川間寮，NGK インターナショナルハウス，服部留学生会館，トヨタ自動車丘上寮等)。社員寮面接においては，留学生の生活実態に触れることができ，アルバイトと研究の間で苦労している姿を再認識した。

3．民間宿舎

(1)　プリマベーラ前山は，1996年４月の新設以来多くの留学生がお世話になった。アドバイジング・カウンセリング部門では，空室情報を提供するとともに入居希望留学生の紹介や入居手続きを手伝った。しかしながら，諸般の事情により，この宿舎は2013年３月をもって閉館することとなり，現在入居中の学生にその旨通知した。17年間の長きに亘り，「理想の宿舎」として名古屋大学の留学生を支えてくださった浜島書店はじめ，関係者に厚くお礼を申し上げたい。

(2)　個人の自宅の提供や相談がいくつかあり，大学の連帯保証事業を説明した。

・自宅を二世帯住宅に改築して，留学生夫婦に貸してくださった家主は，留学生と良い交流ができたようで，学生の卒業後，次の留学生夫婦が借りることになった。

・一軒家に数名で住むシェアハウスの提供があった。相談段階で，シェアする際に起こりうる問題点を話して参考にしてもらった。

・大学に近い一軒家（空き家）を所有する家主から，有効活用の相談があり，機関保証を含め留学生の宿舎事情を伝えた。

(3)　３月の東日本大震災で急遽帰国した学生の中には，部屋の原状回復がきちんとされていないケースがあり，家具やごみの処分など大学にクレームが届き，お詫びするとともに現場を視察した。

【留学生の就職支援】

留学生センターアドバイジング・カウンセリング部門では，「はじめに」で述べたように就職支援室やキャリア・ディベロプメント・オフィスと連携しながら，留学生に特化した求人情報の提供や，留学生採用を考

2011年度　名古屋大学留学生の就職支援活動

項目・事業名	日程	件数・参加者数	備考
外国人留学生のための就職活動支援コース（留学生センター主催）	2011年９月～12月	45名登録（25名定員）	自己分析，企業研究，応募書類，面接訓練，マナー講座等
「日本組織なじみ塾」アルバイトを通して日本企業の仕事の仕方を学ぼう（留学生センター主催）	2011年７月～12月（７月合宿研修，８月～10月企業見学，12月成果発表会）	名古屋大学13名，他大学２名協力者等多数	中島財団留学生地域交流事業助成金，報告書あり
学内会社説明会（留学生センター主催）	2011年４月～2012年３月	14社　参加者延人数197名	日系企業の海外拠点を含む
名古屋大学企業研究セミナー（就職支援室主催）	2011年12月～１月	2011/12/3-4，12/17-18，2012/01/21-22，01/28-29 ８日間	留学生相談コーナー設置
G30国際プログラム紹介のための交流イベント（CDO 主催）	2012年２月16日	参加企業11社，G30学生10名，教職員８名	企業向け G30紹介，G30学生と企業人事担当者との意見交換等
企業からの留学生採用・求人相談	2011年４月～2012年３月	約80社	就職支援会社を含む，会社説明会企業を含む
留学生インターンシップ事業への協力	夏休み，春休み	夏：実施11名／エントリー17名 春：実施０名／エントリー２名	愛知県（夏），及び愛知労働局（春）主催
留学生からの就職個別相談（常時対応）	2011年４月～2012年３月	人数未確認	就活相談，エントリーシート添削，面接訓練等

(注) CDO：キャリア・ディベロプメント・オフィス

える企業からの相談に対応している。また，留学生へのキャリア教育支援についても多面的に行っている。2011年度の留学生の就職支援活動をまとめると上記の表のとおりである。

１．「日本組織なじみ塾」

2011年度も中島記念国際交流財団の留学生地域交流事業助成金に申請し採択された。昨年度の同事業の反省点を改善して行った。６月に説明会及びオリエンテーションを行い，７月初旬に施設の整った中津川研修センターで二泊三日のキックオフ合宿を行った。８月，９月，10月には企業見学を行い，12月アルバイト先の改善活動に関して成果発表会を行った。この事業については，本紀要の年報「事業報告」で詳しく掲載しているためここでは省略するが，「報告書」を刊行しているので興味のある方は参照されたい。

また，番外編で２月にトヨタ自動車工場見学を実施した。バス１台分40名募集のところ，約70名の参加申し込みがあった。今回は，案内言語を英語としたことが希望者増加の原因と思われた。

２．就職活動支援コース

2011年度は，円高や東日本大震災による影響もあり留学生採用を考える企業が増加した。その背景には，大企業の海外進出・拡大があり，それに連なる関連企業が海外展開を考えざるを得なくなったこともあると言われている。そのため，海外と日本を繋ぐ要員として留学生に注目が集まったのである。名古屋大学の企業研究セミナーにおいても，今年度は「グローバルコーナー」が設置され，一般のブースとは別に留学生だけを対象として企業担当者と直接話せる場所が確保された。

そのような情勢を背景に，今年度も「留学生のための就職活動支援コース」を開催した。内容は，「自己分析」「企業分析」「応募書類準備」「面接訓練」そして「ビジネスマナー」である。

最初の「自己分析」を１泊２日の合宿で行った。中津川研修センターは自分を振り返るには最適な静かな環境であり，ここでの二日間は受講生間の連帯感を強化した。合宿の感想は次のとおりである。「共通の目的を達成するために・・・」「同じ道を歩いていく仲間たちの考えを共有できた」「就職という高い壁を乗り越える仲間に会えたことが合宿での一番大きな収穫」「一緒に頑張る仲間もたくさん見つけました」

この学生たちそれぞれが適職と出会えることを願っている。　（留学生センターニュース No.27より抜粋）

また，「日本組織なじみ塾」や「就職活動支援コース」に参加した学生が，エントリーシート添削や面接練習を含む就職相談で来室することも増えてきている。

名古屋大学留学生センター主催

留学生のための就職活動支援コース

受講生募集

日本企業での就職及びキャリア形成を希望する留学生の就職活動を支援するコースです。

■日時: 2011年10月上旬～12月下旬　水曜日(18:30～20:00)
※上記日程に参加できない方は、名城大学(最寄り駅:地下鉄 塩釜口駅)で開催する同じ内容の土曜クラス(10:00～11:30)に振り替える事が可能です。申込時にお問合せ下さい。
■場所: 名古屋大学留学生センター棟 CALEフォーラム(2階)
■受講対象: 日本企業に就職する意志のある名古屋大学に在籍する留学生
■受講定員: 25名(先着順)
■講師: ㈱Keisei　張 敬清氏 他　http://www.careerkeisei.com

元留学生で自動車部品メーカー人事経験者。留学生の採用経験豊富。2005年より経済産業省、日本学生支援機構、大学等に協力し、留学生の就職支援活動に従事。メール相談「就活 Help Desk」を開設。

■受講料: 無料(但し、合宿期間中の食事代金1,650円(3食)と保険料100円の計1,750円は自己負担)
■注意事項: ①このコースは全て日本語で行われます(日本語能力が必要です)。
②プログラムは就職活動に合わせて考えられていますので、全部受講することを勧めます。
③受講後、日本企業に内定した場合、留学生センターに報告してください。

	実施日	項目	形式	内容
①	10月5日(水) 18:30～20:00	オリエンテーション	講義	外国人留学生の就職活動について 合宿準備・説明
②	10月8日(土) ～9日(日)	キックオフ合宿(中津川研修センター) 自己分析	実習	自己分析の必要性と進め方 方向性の確認、Dream Map 作成の基本 Dream Map 作成・発表
③	10月19日(水)	企業分析Ⅰ	講義	企業分析の必要性と進め方
④	11月 2日(水)	企業分析Ⅱ	講義	志望企業選び・企業分析実践
⑤	11月16日(水)	応募書類準備Ⅰ	実習	エントリーシート(ES)、履歴書(CV)の作成
⑥	11月30日(水)	応募書類準備Ⅱ	講義	競争力のある ES、CV に仕上げる
⑦	12月 7日(水)	面接訓練	講義	選考の基本・心構えの習得
⑧	12月14日(水)	グループディスカッション訓練	実習	グループディスカッションの訓練・実習
⑨	12月24日(土)	マナー合同研修(合同)	実習	ビジネスマナーの習得

※ 期間中に企業見学、企業との交流会を別途予定しています。
※ 学習の相乗効果を上げるため、他大学の学生と一緒に研修を実施することがあります。
※ 別途、個別カウンセリングをも行い、内定までフォローします。

◆昨年度受講者の声◆
- 準備段階から面接対策まで一通りのサポートのみならず、留学生向けであることが尚更良かった。
- 自信を持つようになりました。就活を真剣にやってみるという気持ちになりました。
- 就職のための多くの要素を、総合的に考えられるようになりました。
- 後半の個別フォローで細かく一人一人の進捗状況と問題点を共有し、一緒に解決してくれる点が心強い。

◆受講者の主な就職先(内定先) 順不同 ◆

BASFジャパン株式会社、パナソニック電工株式会社、株式会社小松製作所、ソニー株式会社、シャープ株式会社、株式会社東芝、セイコーエプソン株式会社、アイシン精機株式会社、ブラザー工業株式会社、株式会社クラレ、株式会社ニトリ、株式会社しまむら、岡谷鋼機株式会社、イビデン株式会社、株式会社 LDK、日本コンピューター・システム株式会社、日本特殊陶業株式会社、オオサキメディカル株式会社、株式会社バンフロー、株式会社スズケン など

■参加申し込み: 名古屋大学留学生センター アドバイジング・カウセリング部門 松浦へ
氏名・所属・学年をメールしてください。 matsuura@ecis.nagoya-u.ac.jp

就職活動支援コース案内

3．企業からの留学生採用相談と会社説明会の開催

2011年度から企業の採用活動は12月スタートに変更された。これは，長期に及ぶ就職活動が学生の勉学に与える影響に配慮したものであるが，それまでより２カ月遅く始まることのメリット，デメリットがマスコミに取り上げられた。９月に予定されていた外国人留学生向け学内合同企業説明会が台風で中止になったことは残念だったが，就職支援室が開催した企業研究セミナーでは，12月，１月の週末４回，計８日間，CDO コーディネーターとともに留学生相談コーナーを担当した。日本的なリクルートスーツ姿の留学生が，日本社会に同化すべく頑張っていた。

一方で，CDO コーディネーターが着任してからは，企業からの留学生採用相談にはできるだけ同席してもらい連携を図った。次第に，CDO に，企業情報が集まり留学生の就職支援窓口として機能するようになった。企業との話し合いでは，こちらが企業の状況理解に努めるとともに，企業には留学生事情を話し，通常行われている採用選考に関して，留学生への配慮や留学生を社員として受け入れた際の留意点についても要望をお話しし，留学生との距離感が縮まるよう努めた。

次の表のとおり，14社の個別の学内会社説明会を実施し，延べ197名が参加した。春休み期間は，２社の説明会を時間差で隣接する教室を使って行い，参加留学生の便宜を図った。また，「会社説明会開催の手順」マニュアルを作成し，会社説明会を希望する企業に渡した。内容は，開催日時の設定，会場予約，広報（案内作成），使用機器の確認，説明会内容，連絡先等である。これにより説明を繰り返す必要がなく効率的になった。

2011年度　学内会社説明会実施リスト

No.	会社名	実施日	参加者数（名）	備考
1	デンソーベトナム	2011年４月11日	1	ベトナム限定
2	株式会社マキタ	2011年５月27日	16	中国11名，インドネシア，ウズベキスタン，マレーシア，スウェーデン、アメリカ各１名
3	株式会社アルペン	2011年５月31日	7	中国６名，アメリカ１名
4	河村電器産業株式会社	2011年７月12日	12	中国限定（名大10名，南山大２名）
5	電装（中国）投資有限公司	2011年７月20日	49	中国限定
6	大成建設株式会社	2011年10月19日	11	
7	富士通株式会社	2011年10月31日	22	中国21名、カンボジア１名
8	アイシン・エイ・ダブリュ株式会社	2011年11月９日	19	中国17名，モンゴル１名，タイ１名
9	株式会社○○　（＊）	2011年11月11日	0	
10	三菱商事（株）インドネシア	2012年１月18日	5	インドネシア限定
11	イオン株式会社	2012年２月13日	15	中国13名、イスラエル１名，エリトリア１名
12	ノリタケカンパニー	2012年２月13日	15	中国14名、イスラエル１名
13	イビデン株式会社	2012年３月５日	12	中国11名，ウズベキスタン１名
14	アイシン精機株式会社	2012年３月５日	13	中国12名，ケニア１名
合計	14社		197	

（＊）　参加者ゼロのため社名は伏せる

４．外国人留学生のためのインターンシップ

愛知県では，留学生に対して夏のインターンシップは愛知県主催，春のインターンシップは愛知労働局が主催して毎年行われている。５月に事前学内説明会（約20名参加）を開催し，留学生の参加を呼び掛けた。名古屋大学からは17名エントリーし，11名がマッチングできインターンシップを実施した。夏季インターンシップ報告会が９月末開催された。春のインターンシップは，愛知労働局所轄内では43名エントリーし９企業において14名がインターンシップを実施したが，名古屋大学からエントリーした２名はマッチングにおいて実施に至らなかった。筆者は，愛知労働局の外国人留学生インターンシップ支援協議会の委員として協力しているため，この結果を残念に思った。

５．その他

すでに卒業した留学生が母国で就職するに当たり，推薦書を依頼してきた。基礎セミナーでTAを務めた学生だったため応募者の能力や人柄について記載した。しばらくして採用されたと嬉しい報告があった。

【地域交流】

１．地球家族プログラム

2011年度は，全学の留学生を対象に，週末や祝日を利用した短期のホームステイプログラムを年間８回実施した。参加留学生数は延べ137名であった。５月の連休，夏休み，秋，年末年始，春休みを利用した基本的プログラムの他，学内の様々な短期プログラムで来日，滞在する留学生にも日本の家庭生活体験を提供し好評である（例：工学部自動車工学サマープログラム）。2011年度は，NC州（米国）高校生と付属高校の交流プログラムにおけるホームステイのためにオリエンテーションを実施した（６月）。さらに，毎年，三重県津市（５月の連休）や，愛知県知多市（12月）の国際交流協会主催ホームステイプログラムにも協力している。ホストファミリーは，愛知県，岐阜県等の国際交流団体や個人登録者である。各プログラム実施に当たっては，事前にオリエンテーションを行い，留学生のホームステイへの期待を高め，不安を解消している。

２．名古屋商工会議所

平成23年度留学生産業視察会を年３回開催した。この産業視察会は，留学生等にこの地域が誇るモノづくりへの理解をより深めてもらい，国際交流都市・名古屋の魅力を世界に伝えることを目指すものである。計71名の留学生（他大学を含む）が参加したと報告があった。

【家族】

「留学生の家族の日本語コース」は，名古屋大学留学生会（NUFSA）主催で開講されてから20年以上の歴史を持つが，名古屋栄ライオンズクラブ（NSLC）の支援が始まった1994年10月からは目に見えて充実したコースとなった。「家族の日本語コース」の目的は二つ。一つは，日本語教育であり，それによって家族が自立的に日本で生活できるようになることである。家族が自立できれば留学生は研究に専念できる。もう一つは，同じ境遇の人々と友達になることである。多くの留学生は研究に忙しく，ともすれば家族は異国において孤独な生活を強いられる。それを避けるため友達を作ってほしいと考えている。留学生の受け入れは，家族をも受け入れることであり，家族が日本で充実した生活を送ることが大切だと考える。

平成23年度は，前期41名，後期39名，計80名が受講した。また４名の講師のうち２名が交代した。前期に西松先生，後期に海老原先生を迎えた。前期は５月校外学習（東山公園），７月サマーパーティーを開催し，後期は，11月バス旅行（りんご狩り），12月イヤーエンドパーティーを行なった。パーティーは持ち寄りで世界の家庭料理が並ぶ。さらに，年１回NSLCの例会に受講生２名が出席して日本語でスピーチし学習成果を披露する機会を得ている。今年度は中国とインドネシアからの受講生が，デパートのサービス精神や高校生の制服など日本の生活体験を話し喝采を浴びた。1994年以来，NSLCからの恩恵を受けた受講生は延べ1,664名となり，ご支援いただいた金額は膨大なものとなっている。今後も，留学生やその家族の日本滞在を充実したものとするために地域社会との連携・協力を大切にしたい。（留学生センターニュースNo.27より抜粋）

11月10日　秋旅行（長野へのりんご狩り）

2011年度後期
留学生の家族のための日本語・日本事情コース

主催：名古屋大学留学生会(NUFSA)
後援：名古屋栄ライオンズクラブ

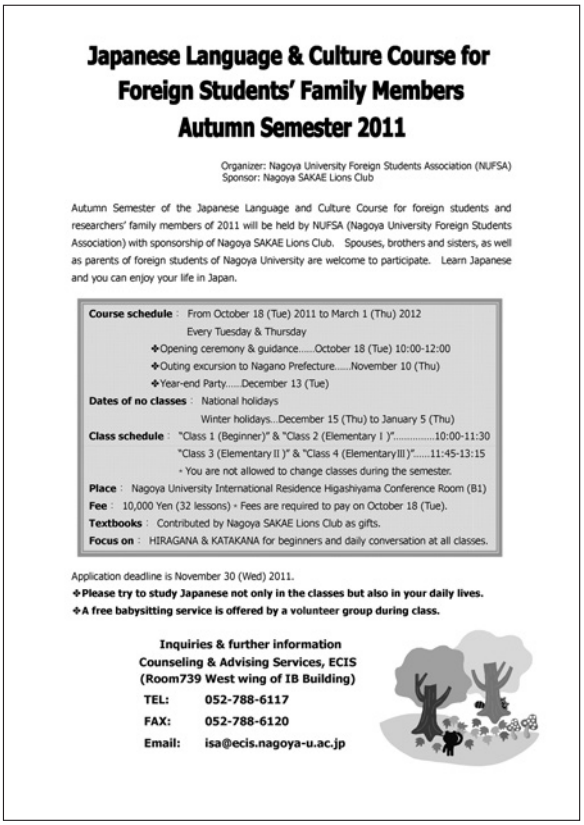
名古屋大学留学生会では名古屋栄ライオンズクラブの後援をいただき、2011年度後期も名古屋大学の留学生や研究者の家族(夫・妻・兄弟姉妹・親)のための日本語・日本事情コースを開講します。日本語を学んで日本の生活を楽しんでください。

開講日程：2011年10月18日(火)～2012年3月1日(木)の毎週火曜日と木曜日
❖開講式とクラス分け……10月18日(火) 10:00～12:00
❖校外学習(長野県)……11月10日(木)
❖イヤーエンドパーティー……12月13日(火)
休講日：祝祭日
冬休み……12月15日(木)～1月5日(木)
時間とクラス：「クラス1(入門)」「クラス2(初級Ⅰ)」……10:00～11:30
「クラス3(初級Ⅱ)」「クラス4(初級Ⅲ)」……11:45～13:15
＊期間途中のクラス変更はできません。
場所：名古屋大学インターナショナルレジデンス東山地下1階会議室
受講料：10,000円（授業回数32回）＊受講料は10月18日(火)に全額支払ってください。
テキスト：名古屋栄ライオンズクラブからプレゼントされます。
内容：日常の生活で必要な会話が中心です。初心者にはひらがな・カタカナから教えます。

申し込み〆切は2011年11月30日(水)です。
❖教室での学習以外にも日頃から日本語や日本文化を学ぶ努力をしてください。
❖受講中はボランティアによるベビーシッターのサービスがあります(無料)。

問い合わせ先
留学生センター アドバイジング・カウンセリング部門
(IB電子情報館西棟739号室)
TEL: 052-788-6117
FAX: 052-788-6120
Email: isa@ecis.nagoya-u.ac.jp

家族の日本語コース　後期　案内（日本語）



Japanese Language & Culture Course for Foreign Students' Family Members
Autumn Semester 2011

Organizer: Nagoya University Foreign Students Association (NUFSA)
Sponsor: Nagoya SAKAE Lions Club

Autumn Semester of the Japanese Language and Culture Course for foreign students and researchers' family members of 2011 will be held by NUFSA (Nagoya University Foreign Students Association) with sponsorship of Nagoya SAKAE Lions Club. Spouses, brothers and sisters, as well as parents of foreign students of Nagoya University are welcome to participate. Learn Japanese and you can enjoy your life in Japan.

Course schedule: From October 18 (Tue) 2011 to March 1 (Thu) 2012
Every Tuesday & Thursday
❖Opening ceremony & guidance.....October 18 (Tue) 10:00-12:00
❖Outing excursion to Nagano Prefecture.....November 10 (Thu)
❖Year-end Party.....December 13 (Tue)
Dates of no classes: National holidays
Winter holidays...December 15 (Thu) to January 5 (Thu)
Class schedule: "Class 1 (Beginner)" & "Class 2 (Elementary Ⅰ)".....10:00-11:30
"Class 3 (Elementary Ⅱ)" & "Class 4 (Elementary Ⅲ)".....11:45-13:15
・You are not allowed to change classes during the semester.
Place: Nagoya University International Residence Higashiyama Conference Room (B1)
Fee: 10,000 Yen (32 lessons) ・Fees are required to pay on October 18 (Tue).
Textbooks: Contributed by Nagoya SAKAE Lions Club as gifts.
Focus on: HIRAGANA & KATAKANA for beginners and daily conversation at all classes.

Application deadline is November 30 (Wed) 2011.
❖**Please try to study Japanese not only in the classes but also in your daily lives.**
❖**A free babysitting service is offered by a volunteer group during class.**

Inquiries & further information
Counseling & Advising Services, ECIS
(Room739 West wing of IB Building)
TEL: 052-788-6117
FAX: 052-788-6120
Email: isa@ecis.nagoya-u.ac.jp

家族の日本語コース　後期　案内（英語）

【留学生会】

１．名古屋大学留学生会（NUFSA）

2011年度の会長は，コンゴ民主共和国出身のクリスチアンさん（GSID）が継続した。春のバザーは，震災の影響と考えられるが提供品が少なく，必要経費を差し引くと２～３万円の利益だった。秋もほとんど同様だったため，地域連絡会ではバザーの在り方や開催時期等について意見交換した。それでも，新入留学生にとっては助かっているとの意見がNUFSAからあり今後も同様に開催することにした。NUFSAは大学寮の入居オリエンテーションで活動を紹介した。12月NUFSA会計担当とともに会計報告書を作成し，名古屋大学留学生後援会から30万円を補助された。

２．愛知留学生会（AFSA）と愛知留学生会後援会

2011年度のAFSA会長は名古屋工業大学のアジェイさん（インド）であった。春の国際交流バス旅行は126名が参加して「野外民族博物館リトルワールド」を訪れた。秋は人気のリンゴ狩りを実施し116名が参加した。いずれも日本人学生と留学生の交流を目的としたものでバス３台で実施した。秋は「三菱UFJ国際財団」からバス代１台相当分のご寄付をいただいた。また，恒例の12月の「第47回留学生の夕べ」は入場者と主催者合わせて338名が来場し盛大で楽しいイベントとなった。留学生によるパフォーマンスのレベルが高く好評であった。

第47回留学生の夕べ （料理ブース）

愛知留学生会後援会の緊急援助金事業は，「名古屋を明るくする会」からの寄付金を原資としているが，愛知県内の留学生37名（８大学）に緊急援助金（計150万円）を支給し，緊急に経済的困難に陥った留学生を支援した。

３．中国留学生学友会

東日本大震災被災者に対する募金活動の相談があり，６月20日～22日に留学生センター前で実施した。当初，人が多く集まる名大祭での募金活動を考えていたが，名大祭と競合することから時期をずらした。41,112円の募金があり，日本赤十字に寄付されるとのことであった。

【おわりに】

留学生が増え，学内教職員の様々な研修に「異文化対応」や「国際化」に関する話題が含まれるようになり，その講師を務めた。５月新規採用職員研修「異文化対応について」，６月教職員ワークショップ「留学生との信頼関係をどう築くか」，11月国際業務トレーニング研究「大学職員のための異文化コミュニケーションセミナー」，３月学生生活に関する教職員研究会「留学生をめぐる諸問題について」に関わり，これまで留学生相談業務関わった経験をもとに身近な話としてわかりやすく紹介した。

また，学生相談総合センターが毎年行うピア・サポーター養成講座の一つ「留学生とのつきあい方」では，留学生アドバイザーやカウンセラーが交代で講師を務めているが，2011年度は田所先生にお願いした。

2011年10月にG30学生が入学した。日本語を必要としない学部学生の存在が，名古屋大学のキャンパスや地域社会のグローバル化によい刺激となることを願っている。